

ICTを活用した深い学び推進事業

R3～5の 主な取組成果

- ・ICT機器を活用した授業改善や家庭学習の実践。
- ・EdTech教材を活用した、生徒の探究的な学びの取組の実践。
- ・ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実施。

主な課題

- ・ICT機器を有効に活用した授業実践のさらなる拡充と個別最適な学びの充実。
- ・総合的な探究の時間や課題研究の時間を中心とした、探究的な学びの推進。

取組方針

- ・授業で活用できるツールを導入し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業の充実を図る。
- ・EdTech教材の利活用により、「探究的な学び」「個別最適な学び」を充実させ、生徒の資質・能力を育成する。

「情報Ⅰ」の授業と「個別最適な学び」を充実させるEdTech教材

・Life is Tech レッスン(「情報Ⅰ」の学習を支える教材)

プログラミングやデータサイエンスを扱う「情報Ⅰ」の学習に必須となる実習環境を導入。効率的な授業を支援し、個別最適な学びにも対応。各レッスンごとの振り返りワークにより、間違えた箇所は対応するレッスンに戻り、繰り返しを促し、生徒個人で学び直しが可能。

デジタル教科書の活用

- 豊府中学校に導入
- ・英語で導入(国庫)

主体的・対話的な授業を実現し「探究的な学び」「個別最適な学び」を充実させるEdTech教材

・MetaMoJi Classroom(授業支援ツール)

授業の中で、リアルタイムに教師と生徒、生徒と生徒が「つながる・協働する・共有する」場面を創出
一斉学習、個別学習、グループ学習などページ単位で目的別のページ作成が可能で「個別最適な学び」をサポート
家庭学習で活用できるほか、不登校や病気などの長期欠席者への学習環境の提供が可能
遠隔授業やオンライン授業で、対面授業実施と同等の教師と生徒のやり取りが可能

備考

- ・MetaMoJi Classroomについては全生徒・教職員が使えるようにする。
- ・Life is Tech レッスンは情報専門の教諭数の現状を考慮し、多くの学校の希望に応える(25校程度想定)。
- ・ICT活用授業&探究ライブラリポータルサイト(教育デジタル改革室)と連携して、活用法の周知を図る。